



学校だより

令和2年9月30日

横浜市立洋光台第三小学校

10月号 校長 金澤 智美

<http://www.edu.city.yokohama.jp/sch/es/yokodai3/>

ケヤパオリエンテーリングを通して

こうちょう かなざわ ともみ
校長 金澤 智美

残暑が厳しい9月でしたが、夏野菜は収穫を終え、田んぼの稲は穂を垂れ、アサガオはたくさん種をつけました。それぞれの実りとともに、気付くと秋風が心地よい季節となりました。

7月に発足した5・6年生児童による委員会活動が活発になるに伴い、学校生活に児童の息吹がよりはっきりと感じられるようになりました。健康委員会による、休み時間終了チャイムの後の「手洗い歌」の放送は、今年ならではの活動の一つです。

9月25日、全校で「ケヤパオリエンテーリング」を行いました。昨年度まで行っていた全校遠足を改め、学年縦割りのケヤパグループで校内に設けられたコーナーを回り、課題に挑戦するというオリエンテーリング方式にリニューアルして実施しました。

今回のオリエンテーリングでは、集会委員児童がアイデアを出して課題となるゲームを企画し、当日の運営も担当しました。コーナーに用意されたゲームは、「紙飛行機飛ばし」「言葉パズル」「風船しりとり」「牛乳パック積み」「〇×クイズ」「リズムジャンプ」の6つです。

開会式後、各グループが教室から移動を始めました。そこで見られたのは、6年生が下学年の児童を率い、みんなで廊下を整然と動く姿でした。「混んでいるから、別のところに行こうか」「次は紙飛行機だから、ここで手を洗うよ」など、リーダーの声掛けに、素直に従う子どもたち。それぞれの児童が、自分にできることを一生懸命行おうとする気持ちが行動に表れていて、教師はただ見守っているだけで時間が流れていきました。リーダーシップをとる高学年の姿は、低・中学年の児童にとって頼もしくあるとともに、身近なあこがれの存在として映ったことと思います。

6年生や集会委員は、みんなのために行動することの大変さを実感したことでしょう。さらに、人の役に立てたことに喜びを感じた児童もいたことでしょう。何よりも、同じグループのメンバーと体験を共有し、「隣にいる信頼できる友達も、自分と同様に楽しんでいる」と感じることで、一人ひとりが「自分はこれでよいのだ」と確認し、安心できたのではないのでしょうか。このような体験こそが、自尊感情を育む大切な一歩となると考えています。

10月には、前期から後期への節目を迎えます。また、運動会を通して、全校が一緒に行う活動を体験させたいと計画しています。安全を第一に、子どもたちが自分と周りの人を大切にしながら、夢や目標に向かって進んでいけるよう、最善を尽くしていきます。ご理解とご協力をよろしくお願いいたします。

【令和2年度 運動会についてのお知らせ】

10月31日(土)に半日開催で行う予定です。感染防止対策のため、プログラムや座席配置を例年と変更しての実施となります。そのため、参観は、各家庭1名の方に限らせていただきます。誠に残念ですが、それ以外の方の来校はご遠慮ください。詳細は、別紙(後日配付)にてご確認をお願いいたします。